



**災害時ICTサービスでサステナブル建築物に**  
 東京建物の「向ヶ丘遊園」

テンフィートライト（東京都中央区）が提供する住戸インターホンとウェブを活用した「災害時ICTサービス『ゆいぼた』」と「インターホンIoTシステム」を導入した分譲マンションが、国土交通省の平成29年度サステナブル建築物等先導事業（次世代住宅型）に採択された。東京建物が川崎市多摩区で開発中の「ブリリア向ヶ丘遊園」（5階建て、総戸数82戸）で、11月中旬に竣工予定。

このサービスはパナソニック製のマンション用インターホンと連動したもので、災害時の本来機能のほか、住戸のインターホンを活用して、家族内で安否情報の確認・共有や外出先家族からのメッセージ受信が可能となる。IoTシステムではエンタランスの遠隔解錠の機能を使い、マンション内のトランクルームへの配達が可能になる仕組み。

同サービスを新築物件に導入することで、防災と平時時のコミュニティ維持・形成、物流効率化への貢献を目指した。この点が評価されて今回の採択となったという。